

文学館カレッジ

— College Program of Hokkaido Museum of Literature —



2022年度開講講座総合案内と受講申込書

2022年度の文学館カレッジがスタートします。言葉を大切にしながら、文学をより身近なものにし、人生にいつそうの彩りと深みを加えたいと願う皆さまとともに学び合うための文学館の試みです。

文学館ならではの充実したメニュー。言葉への深い愛情と理解から生み出された多彩な作品の講読や分析を通して、言葉の持つ豊かな力、言葉による表現の可能性を求めて開催します。

各講座の開講日程、講師、受講料など、詳細については2頁以下をご覧ください。皆さまの積極的なご参加をお待ちいたします。

- ◆ 受講の申込み：2022年5月26日(木)より
(講座ごとに定員となりしだい、受付を終了いたします。)
- ◆ お申込み方法：「受講申込票」をカレッジ事務局まで、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法でお送りください。電話でのご予約も可能です。
(am 9:00 ~ pm 5:00)
※「受講申込票」は、この案内書に添付されています。
- ◆ お問合せ先：公益財団法人北海道文学館(北海道立文学館指定管理者)
〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号
(地下鉄南北線中島公園駅または幌平橋駅下車徒歩6分)
TEL .011-511-7655 FAX. 011-511-3266

Eメール bungaku@h-bungaku.or.jp

【全講座のご紹介】

1 北海道文学アラカルト 宮沢賢治を深く読む

各回ごとにお申し込みいただける講座です。

宮沢賢治の童話は知っていても、賢治と父親との密接な関わりや、東北砕石工場時代の賢治の苦汁に満ちた日々のこと。また、賢治の死後数年で開かれた根室での追悼会のことや、賢治の詩「旭川。」を描いたあべ弘士の渾身の絵本のことなどに加え、今年『「銀河鉄道の夜」の謎を解く』を出版し斬新な切り口で注目された作者による解説など、賢治のことを深く伝えます。

第1回 6月18日 子としての賢治－父・宮沢政次郎との関係
講師：柴村紀代

第2回 7月16日 『春と修羅』第3集を読む－東北砕石工場時代
講師：柴村紀代

第3回 8月20日 北海道における宮沢賢治－小田邦雄、更科源蔵
講師：横田由紀子

第4回 9月17日 北海道の作家による賢治絵本－あべ弘士ほか
講師：横田由紀子

第5回 10月15日 『銀河鉄道の夜』を読む
講師：三浦幸司

日時	①6月18日(土) ②7月16日(土) ③8月20日(土) ④9月17日(土) ⑤10月15日(土) 各日13:30～15:00
講師	①②柴村紀代(児童文学研究者) ③④横田由紀子(児童文学研究者) ⑤三浦幸司(日本児童文学者協会北海道支部長)
受講料	1回1,300円(会員1,170円) ※1回ごとのお申し込みとなります。 各回とも 定員15名

2 生涯読書会 続・小林秀雄『本居宣長』の長い旅にでましょう！

全10回講座

<p>昨年引き続き小林秀雄が晩年の全精神を注ぎ込んだとされる『本居宣長』を読みましょう。古典文学の味読の本居宣長の思想を、さらに味読した小林秀雄の『本居宣長』を、いま老熟期に到って読破することで、いったいどのような歎びと発見があるか期待されたし！ 批評文学の散文とはどのようなものか、ゆっくり時間をかけ、思索の感動世界を旅しましょう。(講師談)</p> <p>テキストは、新潮文庫上下巻です。上巻の残りから続けます。各回、発表者は持ち時間15分以内で自由な報告発表を披露。その後5分程度の質疑応答を予定。</p>	
日 時	<p>①6月18日 ②7月16日 ③8月20日 ④9月17日 ⑤10月15日 ⑥11月19日 ⑦12月17日 ⑧令和5年1月21日 ⑨2月18日 ⑩3月18日 毎月第3土曜日 10:30～12:00</p>
講 師	工藤正廣 (北海道立文学館館長)
受講料	12,000円 (全10回分、会員10,800円) 前・後期に分けてのお支払いも可 定員15名

3 吉本隆明の戦後～詩と思想のはざままで～

全3回講座

<p>敗戦をはさむ困難な時代をくぐり抜けながら詩人として活動を始め、「昭和」の思想界に〈知〉をめぐる問題を提起しつづけた吉本隆明。その一貫した探求はどのようにしてもたらされたのか。青年・吉本隆明が生きた戦後期を中心に考えます。</p> <p>資料は毎回、当方で用意します。</p> <p>※推薦図書『吉本隆明 わが昭和史』(ビジネス社 2020年)</p>	
日 時	<p>①6月25日(土) ②8月27日(土) ③10月22日(土) 第4土曜日 10:30～12:00</p>
講 師	平原一良 (当財団理事長)
受講料	3,600円 (全3回分、会員3,240円) 定員15名

荷風日記は、大正から昭和戦後の激動期を映す鏡です。戦争・災害・テロの21世紀を生きる私たちが、荷風日記を読む意義はどのようなものでしょうか。

それは、日々生起する出来事を、自分なりの見方でいかに捉えるかということに尽きます。荷風散人のような透徹した観察眼・批評眼を獲得するのも、それほど難しいことではありません。

テキストは『摘録断腸亭日乗』上・下2冊（岩波文庫）です。あらかじめ入手してください。

日時	① 7月23日(土) ② 8月27日(土) ③ 9月24日(土) ④ 10月22日(土) ⑤ 11月26日(土) ⑥ 12月24日(土) 毎月第4土曜日 13:30~15:00
講師	中澤千磨夫（当財団理事）
受講料	7,200円（全6回分、会員6,480円） 定員15名

【注 意 事 項】

＜共通事項＞

- ◇ 「北海道文学アラカルト」を除き、全回通しの受講となります。
- ◇ 各科目とも1回の講義時間は基本90分です。
- ◇ 会場は北海道立文学館地下講堂です。
- ◇ テキストについては、講座紹介に記載がない講座は、原則として講師のほうで用意します。
- ◇ 受講者は筆記用具をご持参ください。

＜受講申込要項＞

- ◇ 受講申込方法
添付の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、事務局までお申し込みください。申し込みは、郵送、電話またはFAXでも受け付けます。
- ◇ 定員に達ししだい受付を終了します。また受講申し込みが8人に達しない場合は、閉講する場合がありますのでご了承ください。
なお、定員に達したため受講をお断りする場合、及び受講者が8人未満で開講できない場合のみ、事務局から連絡いたします。それ以外は、お申し込みいただいた時点で受講可能ですので、開講日においでください。
- ◇ 開講した時点で定員に達していない場合は、第2回の講義終了時点まで受講の申し込みを受け付けます。それ以降の途中申し込みはお受けしませんので、ご了承ください。
- ◇ 文学館会員の方は、受講料に会員割引の特典があります。
- ◇ 受講料は、開講初日にお納めください。全10回の講座のみ前期・後期にわけてのお支払いが可能です。
- ◇ 納入済みの受講料については、原則としてご返却いたしかねます。
- ◇ 修了証等は、発行いたしませんのでご了承ください。

お願い

来館、受講の際はマスクの着用をお願いします。来館時、入口にて検温・手指の消毒をお願いしていますので、ご協力ください。

- ☆ 注意事項をご一読のうえ、お申し込みください。
- ☆ (公財)北海道文学館では賛助会員(年会費3,000円)を募っています。詳細はお問い合わせください。